

KILL MY DADDY

殺し屋の元に現れた、一風変わった依頼人。受ける必要のない依頼……しかし何故か君は、少女の差し出す依頼料^{カッパネ}を手にとっていった。タイトルが示すとおりシンプルなカタナシナリオ。 (掲載日：2016.12.16)

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

SONE (twitter : @sone_99)

▼プレイヤー人数

2～3人

▼想定プレイ時間

3時間

▼シナリオタグ

ストリート、殺し屋、少女

●このシナリオについて

本作は非常にキャッチーな導入でありながら、シンプルな依頼遂行型のストリートシナリオだ。一風変わった依頼を通し、主人公のカタナのキャラクターを引き出すことができるだろう。

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～50点

▼使用ルールブック

「TNX」「TOS」「CTL」

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

殺し屋さんへ。
あなたが人を殺すところを見ました。
警察には何も言いません。
そのかわり、お願いをきいてください。
この10カッパーで、殺してほしい人がいます。
その人は、いつも私をぶって、いじめます。
きっと私は、いつかその人に殺されるでしょう。
だからどうか、お願いします。
私のお父さんを殺してください。

トーキョーNOVA THE ACCELERATION
『KILL MY DADDY』

殺し屋と少女が出会うとき、運命の扉は開かれる。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①カタナ』：現代の騎士（『TNX』 p91）

『②クロマク』：世界の支配者（『TNX』 p95）

『③ニューロ』：ドローンマスター（『TOS』 p54）

●『②クロマク』について

『②クロマク』は、河渡・カーライル・三合会のいずれにも所属していない、ストリートの顔役を想定している。

●プレイヤー人数が少ない場合

プレイヤー人数が2人の場合、『③ニューロ』を省いて遊ぶこと。

●必要な神業

敵ゲストの神業による即死を防ぐために防御系の神業が2つ以上、アクトの展開次第では3つ以上必要になる。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート〉〈社会：警察〉などだ。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①カタナ』→『②クロマク』→『③ニューロ』→『①カタナ』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

- 『①カタナ』：ストリートの殺し屋
- 『②クロマク』：ストリートの顔役
- 『③ニューロ』：『②クロマク』の部下

①推奨スタイル：カタナ

SCENARIO HANDOUT

コネ：カナ

推奨スタート：外界

キミはストリートの殺し屋だ。あるとき、キミは“仕事”の現場を、無関係な子どもに目撃された。その目撃者——カナという幼い少女は、なげなしのカッパーを差し出してこう言った。「お父さんを殺して」と。キミはそのカッパーを受け取った。どうしてか、そんな気分になったのだ。

【PS：カナの父親を殺す】

②推奨スタイル：クロマク

SCENARIO HANDOUT

コネ：“署長” ダニエル・K・マックバーン

推奨スタート：外界

キミはストリートの顔役だ。キミの元には、いつも様々な問題ごとの解決が持ち込まれる。今回の仕事は、ストリートの秩序を乱す新興組織“99分署”の壊滅と、そのボスであるマックバーン署長の排除。SSSの汚職警官たちによる強力な武装ギャングだ。奴らとコトを構えるには、少々手駒が足りない。

【PS：“99分署”を壊滅させる】

③推奨スタイル：ニューロ

SCENARIO HANDOUT

コネ：『②クロマク』

推奨スタート：任意

キミは『②クロマク』の部下だ。これまで『②クロマク』のもとに持ち込まれるストリートの問題ごとを、的確に処理してきた。だが今回の仕事は同じようには行かないかもしれない。SSS警官たちの武装ギャング“99分署”の壊滅。どうやら、キミひとりの手に負える案件ではなさそうだ。

【PS：『②クロマク』の仕事を助ける】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

SSSの汚職警官たちによるギャング組織“99分署”が、法と暴力を武器にストリートで勢力を伸ばしていた。ストリートの均衡を揺るがす彼らを壊滅させるため、三大犯罪結社は連名で『②クロマク』に依頼。その動きとは無関係に、『①カタナ』は“99分署”のボスであるマックバーン署長の暗殺を依頼される。依頼人は署長の娘・カナ。カナは父親に虐待されており、偶然知り合った『①カタナ』にせめてもの救いを求めたのだ。

このアクトはマックバーン署長を殺害し、“99分署”を壊滅させることで終了となる。

■クライマックスの条件

マックバーン署長の邸宅を襲撃することでクライマックスに移行する。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：少女の1日

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：キャストの登場は不可

◆解説

カナの1日を描写するルーラーシーン。カナが学校の帰り道に、殺し屋『①カタナ』の犯行を目撃する。

◆描写1

生傷と青あざだらけの少女が登校する。教室の彼女の机には『死ね!』『学校に来るな!』という落書き。級友たちは少女を避け、誰も近寄るものはいない。教師たちの陰口が聞こえる。

▼セリフ：教師たち

「例のソーシャルワーカーが病院送りにされたってよ」

「またか。これで何人目だ?」

「鹿島カナに関わるからさ。半端な正義感は身を滅ぼすってことだ」

「可哀想だが、面倒ごとは御免だね」

◆描写2

夕方、学校からの帰り道。少女は街はずれの廃工場に立ち寄る。人気のないところで時間を潰してから家に帰るつもりだ。だがその日は先客がいた。少女は物陰に隠れて、先客たちのやり取りを目撃していた。殺し屋『①カタナ』(*1)が標的を殺害する一部始終を。

▼セリフ：『①カタナ』のターゲット

「た、助けてくれ『①カタナ』。金ならある!」

「お前は金で動く殺し屋だろう。倍額を出さぞ!」

(殺される)「ぐはっ……薄汚い殺し屋め……」

◆結末

描写を終えたら、シーンを終了する。

●オープニング2：小さな目撃者

シーンプレイヤー：『①カタナ』

登場：不可

◆解説

『①カタナ』のオープニング。カナから父親の殺害依頼を受ける。

◆描写

『①カタナ』の前に、カナと名乗る少女が現れる。生傷と青あざだらけの少女は、淡々と10 Copperを差し出し(*2)、とんでもないことを言い出した。

▼セリフ：カナ

「はじめまして。私は、カナといいます」

「殺し屋の『①カタナ』さん、あなたが人を殺すところを見ました」

「誰にも、何も言いません。そのかわり、お願いをさせてください」

「どうしても、殺してほしい人がいます」

「お金はこれしかありません。足りないなら、大人になったときに働いて返します」

「その人は、いつも私をぶっつけていじめます。何度も逃げたけど、そのたびにつかまって、ひどいことをされました。きっと私は、いつかその人に殺されるんだと思います。お母さんみたいに」

「助けようとしてくれた人はいました。先生とか、児童相談所の人とか。でも、その人にひどい目に合わされました。もう誰も助けてくれません。警察もです。だってその人は、警察のえらい人だから」

「お願いします。私のお父さんを殺してください」

◆結末

『①カタナ』が依頼を受けた(*3)らシーンを終了する。

(*1) 殺し屋『①カタナ』

『①カタナ』の殺人が描かれる場面だが、『①カタナ』自身は(ゲーム処理の上では)登場していない。その場にはいるが、カメラに写っていないのだ。

(*2) 淡々と10 Copperを差し出し

カナは『①カタナ』に「口封じのために殺されるかもしれない」と想像している。その上で「別にそうなくても構わない」「現状より不幸にはならない」と考えている。ダメで元々で、せめてもの救いを求めているのだ。そのような諦観を感じさせるとよいだろう。

(*3) 依頼を受けた

このシーンの後、『①カタナ』はカナからひと通り事情の説明を受ける。ただ、子供の言うこととされており、裏が取れたわけではない。リサーチフェイズで改めて情報を調べる必要がある。

『①カタナ』のキャラクター性によっては「よし、すぐ殺そう」と、さっさと殺しに行こうとすることもあるだろう。その場合、『①カタナ』単独でクライマックスフェイズへ移行し、ほぼ確実に死亡する旨を伝えるとよい。

●オープニング3：ストリートの調停者

シーンプレイヤー：『②クロマク』

登場：『③ニューロ』自動登場

◆解説

『②クロマク』『③ニューロ』のオープニング。N◎V A三大犯罪結社の代表たちから、“99分署”の壊滅を依頼される。『②クロマク』は依頼料として10報酬点を得る。

◆描写1

N◎V A三大犯罪結社の代表が、『②クロマク』の元を訪れる。『②クロマク』に目下の問題の解決を依頼するためだ。

▼セリフ：河渡白夜

「“99分署”が目にも余る。緩衝地帯(*4)で好き勝手に縄張りを広げていやるが」

「マックバーン署長と汚職警官どもはやりすぎた。出る杭は打たれるのが道理ってんだ」

▼セリフ：キース・シュナイダー

「But、我々は緩衝地帯には手を出させません」

「河渡も三合会も同様デース。緩衝地帯に手を出すのは重大な協定違反、第三次アサクサ戦争の引き金になりマース」

▼セリフ：ジミー楊

「組織を挙げてのどかい戦争は、当分は避けてえ。そこで『②クロマク』、あなたの出番だ」

「マックバーン署長率いる“99分署”を叩き潰してくれや。報酬はプラチナム。手段は問わねえ」

「『②クロマク』だけが頼りだ。よろしくな」

◆描写2

『②クロマク』が依頼を受けると、三大組織の代表たちは去った。

▼セリフ：『②クロマク』の腹心(*5)

「また厄介事を引き受けられましたね」

「“99分署”は、SSSの汚職警官たちによるギャング組織。規模こそ小さいですが、強力な武装集団と聞きます」

(『③ニューロ』がいれば)『③ニューロ』は確かに優秀です。ですが今回の案件は、『②ニューロ』ひとりの手には余るものようです」

「現状では、彼らを相手取るには手駒が足りておりません」

「おお、すでに心当たりがございましたか」

◆結末

『②クロマク』が行動を開始すると、シーンを終了する。

(*4) 緩衝地帯

河渡・カーライル・三合会が、全面戦争を(当面の間)回避するために、協定を結んで「どの勢力も手を出さない不可侵地域」と決めた区画。『②クロマク』は、この協定を成立させた立役者だ。これは本シナリオの独自設定である。

(*5) 『②クロマク』の腹心

『③ニューロ』がいる場合、同様の内容を『③ニューロ』が説明したことにしてよいだろう。

No Image

■カナ

エキストラ

▼設定

「……ころさないの？」

本名はカナ・鹿島・マックバーン。年齢層は8歳程度。

養父であるマックバーン署長によって母親を殺され、虐待を受けている。周囲に助けを求めても、署長の手により阻まれてきた。そのため、偶然出会った殺し屋『①カタナ』にせめてもの救いを求める。

長年に渡る虐待により、人生に諦観している。感情がひどく摩耗しているが、根は素直で心優しい少女。

No Image

■“署長”ダニエル・K・マックバーン

フェイト、エグゼク◎●、イヌ

▼神業

■真実 □買収 □制裁

▼技能

1 ♠♣♥◇ 専門部署 (CTL70)

1 ♠♣♥◇ 防衛者 (CTL81)

▼設定

「家庭の問題に口を出すな！」

本名はダニエル・鹿島・マックバーン。

“99分署”署長。情報分析と組織運営に長け、“99分署”をギャング組織として急成長させた。強欲かつ狡猾な、根っからの悪党だ。

死んだ妻の連れ子・カナの養父となっているが、その目的はカナが成人後に相続する遺産だ。そのため遺産を相続した時点で、カナを殺害するつもりでいる。なお妻(カナの母親)を殺害したのも彼である。カナを虐待するのは、暴力で屈服させて逃がさないためと、遺産がすぐに手に入らない苛立ちをぶつけるためだ。

神業を使用するエキストラとして扱う。神業はイベントで使用するが、もし残っていたならクライマックスフェイズでゲストたちを支援するために使用する。その場合はスタイル技能の効果で《買収》を《とどめの一撃》に、《制裁》を防御系神業に書き換える。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

●イベント1：帰宅

タイミング：リサーチフェイズ最初のシーン

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

カナが義父であるマックバーン署長から暴行を受けるシーン。

◆描写

『①カタナ』への依頼を終えたカナが帰宅する。家には彼女の父親——マックバーン署長が待ち構えていた。

▼セリフ：マックバーン署長

「ようカナ。ずいぶん遅かったな」

「また寄り道をしたな。そんなにこの家に帰りたくないか？ そんなにこの俺が嫌いか？」

「クソガキめ！（殴りつける）」

（殴りながら）「まったく、誰のおかげで飯が食べると思っていやがる。お前の母親が死んだとき、血も繋がってないお前を引き取ってやったのは誰だ？ この俺だ！ その恩をわかっていないようだな！」

「感謝を知らないのは動物と同じだ。動物は檻に入れておく必要がある。しばらく外出禁止だ」

▼セリフ：カナ

「……（黙って殴られる）」

◆結末

気絶したカナを子供部屋に放り込むと、父親は部屋に外から鍵をかける。描写を終えたら、シーンを終了する。

●イベント2：犬に噛まれる

タイミング：【99分署】について調べた

シーンプレイヤー：解説参照

登場：（社会：ストリート）／SR：イエロー

◆解説

マックバーン署長の飼犬、モディの襲撃を受けるシーン。シーンプレイヤーは【99分署】を調べたキャストとなる。

モディ（データは別項）が登場し、シーンプレイヤーに対する攻撃を1回行なう。攻撃の処理を終えたら、モディは《万能道具：不可知》を使用して退場する。

◆描写1

通信端末に、見知らぬ人物から音声通話が入る。「99分署」からの警告だ。

▼セリフ：脅迫者の声（マックバーン署長）

「“99分署”を調べているようだな」

「余計なことに首を突っ込まない方が賢明だぞ。今、

手を引くなら見逃してやってもいい」

「この街では、犬に噛まれて死ぬヤツも多い。せいぜい気を付けるんだな」

◆描写2

通信を終えると、物陰から黒い大型犬タイプのペットロイドが現れる。大型犬は牙を剥き、攻撃してくる。

▼セリフ：黒い大型犬（モディ）

「GRRRRRR!!」

◆結末

間一髪で難を逃れると、黒い大型犬の姿は消えていた（《万能道具：不可知》で逃走する）シーンを終了する。

●イベント3：襲撃

タイミング：SWATの詰め所へ向かった

シーンプレイヤー：『①カタナ』

登場：（社会：ストリート）／SR：イエロー

◆解説

“99分署”のSWATの拠点を襲撃するシーン。

SWATトループ（別項）20人1グループとのカット進行となる。勝利すると、舞台裏でマックバーン署長が《制裁》(6)を使用。増援を呼んで、シーンプレイヤーを退場させる（社会戦ダメージ17〔逮捕令状〕ダメージを与える）描写②へ移行する。

◆描写1

“99分署”の管轄内にある雑居ビル。そこは“99分署”のSWATの溜まり場だ。

▼セリフ：SWAT隊員

「てめえ、ここがどこだか解ってるんだろうな」

「“99分署”に立てついて、生きて帰られると思うなよ！」

（倒した）「畜生、応援を頼む！」

◆描写2

詰め所を制圧すると、おっとり刀で増援が駆けつけた。増援を率いているのは、指揮官とおぼしき一際屈強な兵士。どうやら潮時のようだ。

▼セリフ：増援のSWAT隊員

「“軍曹”、遅かったようです」

▼セリフ：“軍曹” ジョン・ベッパー

「犯罪者ごときにしてやられるとは、グズどもめ！」

「今は見逃してやるが、この借りはいずれ返すぞ！」

◆結末

カット進行と神業の処理を終えたら、シーンを終了する。

（*6）署長の《制裁》

マックバーン署長の神業を消費させることは、“99分署”の戦力を削ぐことに繋がる。クライマックスのカット進行を有利に運ぶことになる。「打ち消した方がよいのか？」と悩むようなら、このことを説明せよ。

なお“軍曹”ベッパーが顔見世として登場しているが、《制裁》の使用者と混同されないようにしよう。

●イベント4：取引中止

タイミング：ディーラーの取引場所へ向かった

シーンプレイヤー：『②クロマク』

登場：〈社会：ストリート〉 / SR：レッド

◆解説

“99分署”と取引しているディーラーたちと交渉し、取引を中止させるシーン。

〈交渉〉か〈圧力〉による目標値18の判定を行なう。判定に成功すると、“99分署”は取引が中止されたことで損失を出す。舞台裏でマックバーンが『買取』(7)を使用し、その損失を補てんする。

◆描写

取引場所ではディーラーたちが待っていた。

▼セリフ：ディーラー

「悪いが、“99分署”との取引はうまい。やめると言われても、おいそれとはやめられんわ」

「あんたはどんな提案してくれるんだい？ やつらよりささいい話なんだろうな」

(判定に成功した)「なるほど。そういうことなら、やつらとの付き合いはこれっきりにしよう」

◆結末

判定と神業の処理を終えたら、シーンを終了する。

●イベント6：少女と殺し屋(*8)

タイミング：すべての情報を手に入れた

シーンプレイヤー：『①カタナ』

登場：不可

◆解説

『①カタナ』がカナと会話するシーン。『●オープニング2：小さな目撃者』の直後の回想シーンとなる。描写を終えたら、【SPS：マックバーン署長を殺す(5点)】を得る。

◆描写

おかしな依頼を持ちかけてきた、目撃者の少女カナ。『①カタナ』はカナから、一通りの事情を聞き終えた。

▼セリフ：カナ

「……ちゃんと話を聞いてくれるんですね」

「殺されるかもしれないって、思っていました。くちぶうじ、っていうんですね」

「それでもいい、ダメで元々だって思っていました。どうせ殺されるんなら、早いか遅いかだけで、同じことだし」

「でも『①カタナ』さんは、私のお願いを聞いてくれた」「どうして？ どうして助けてくれるの？」

「……よく、わかりません。でも、ありがとうございます」

「お父さんは、こわい人です。つよそうな部下の人を、たくさん連れていきます。『①カタナ』さんでも、どう

にもならないかも。そのときは、この話はぜんぶなかったことにしてください」

「『①カタナ』さんって、殺し屋なのに、いい人です。いい人を、巻き込みたくないですから」

◆結末

会話を終えたら、SPSを提示してシーンを終了する。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報項目は以下のとおり。

『①カタナ』：カナ

『②クロマク』『③ニューロ』：99分署、マックバーン署長

◆カナ

〈コネ：カナ〉〈社会：ストリート、企業、警察〉

10 本名はカナ・鹿島・マックバーン。母親と実父はすでに死別。現在は養父であるSSS【99分署】の【マックバーン署長】に養育されている。自宅は斑鳩にある【斑鳩の自宅】のアドレスを得る)

12 養父から日常的に虐待を受けている形跡がある。カナに近付いた者たちは、みな99分署の警官たちからの暴行や、冤罪・微罪での逮捕による社会的攻撃を受けている。そのため、周囲から疫病神のように忌み嫌われている。

14 資産家だったカナの実父は、カナの生後まもなく死別。夫の財産を相続したカナの母親は、数年前にマックバーンと再婚。その直後、母親は野犬に噛まれた傷がもとで死亡。死の直前に「カナに財産を相続させる。カナが成人する前に死亡した場合、全財産を慈善団体に寄付する」という遺言を遺している。

◆99分署

〈コネ：マックバーン署長〉〈社会：ストリート、警察〉

10 最近、急速に勢力を伸ばしている新興の犯罪グループ。その実態は、ストリートのSSSの汚職警官たちのギャング組織。法と暴力を武器に、緩衝地帯の利権を食い荒らしている。業績を伸ばしているため、SSSの上層部からも黙認されている。組織のボスは【マックバーン署長】だ。

12 最近、『①カタナ』が99分署の周囲を探っている。

14 非常に強力な戦力(【99分署の戦力】)を有しており、正面から立ち向かうことは困難。

(*7) 署長の〈買取〉

マックバーン署長の神業を消費させることは、“99分署”の戦力を削ぐことに繋がる。クライマックスのカット進行を有利に運ぶことになる。「打ち消した方がよいのか？」と悩むようなら、このことを説明せよ。

(*8) 少女と殺し屋

このシーンの目的は、『①カタナ』のモチベーションを確認することだ。カナを救いたくなるよう、けなげさを強調するとよい。

◆マックバーン署長

〈コネ：マックバーン署長〉〈社会：企業、警察〉

- 10 本名はダニエル・鹿島・マックバーン。SSSの【99分署】署長。死別した妻の連れ子を養育している。【斑鳩の自宅】のアドレスを得る。この邸宅は、死別した妻の持ち家であった。
- 12 非情に欲深な人物として知られる。資産家だった妻の家に婿入りし、その後妻を殺害。遺産を手に入れようとしたとの噂もある。また生粋のサディストで、抵抗できない人間をいたぶることで暴力衝動を発散している。
- 14 最近、『①カタナ』がマックバーン署長の周囲を探っている。暗殺を依頼されたようだが、依頼人は不明。
- 16 黒い大型犬型ペットロイドの【モディ】を飼っている。
- 18 神業変更技能〈防衛者〉と〈専門部署〉を持つ。

◆斑鳩の自宅（『③ニューロ』がいる場合）(*9)

〈コネ：カナ、マックバーン署長〉〈社会：企業、警察〉

- 10 見た目は普通の家だが、最新のセキュリティシステムで管理されており、通常的手段では侵入は困難だ。
- 15 セキュリティシステムを無力化するには《電脳神》が必要だ。

◆99分署の戦力

〈コネ：マックバーン署長〉〈社会：ストリート、警察〉

- 10 99分署の主要な戦力は、SWAT (*10)を主力とする武装集団だ。最新鋭装備と高い練度を誇る。指揮官は署長の信任もあつい【“軍曹”ジョン・ペッパー】。
- 13 99分署のSWATは、ストリートの廃ビルを改装した詰め所で待機している。ここを襲撃し、壊滅させることで、彼らの戦力を削ぐことができる。SWATの詰め所のアドレスを得る。
- 16 99分署の最新鋭装備は高額で、十分な資金がなければ維持できない。資金の多くは、押収品のドラッグをディーラーたちに卸して調達している。ディーラーたちと交渉し、取引をやめさせることで、彼らの戦力を削ぐことができる。ディーラーたちとの取引場所のアドレスを得る。

(*9) 斑鳩の自宅

プレイヤー人数が2人の場合、この情報項目は使用しない。マックバーン署長を自宅以外で襲撃したいプレイヤーもいるだろう。だがその場合、トループの護衛に阻まれていた間に逃げられてしまうため、成功しない。署長が逃げる余地がないのはこの自宅だけである。

(*10) SWAT

スワット。Special Weapons And Tactics（特殊火器戦術部隊）を意味する。いわゆる警察の特殊部隊だ。

◆“軍曹”ジョン・ペッパー

〈社会：警察、ストリート〉

- 10 99分署のSWAT隊長（イヌ◎）企業軍で戦闘訓練を受けた生粋の暴力要員である。
- 13 神業変更技能〈防衛者〉を持つ。

◆モディ

〈社会：ストリート、テクノロジー〉

- 13 黒い大型犬タイプのペットロイド（クログネ◎）マックバーン署長の飼い犬。法順守プロテクトが解除されており、署長の命じるとままに標的を噛み殺す殺人機械である。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●クライマックス1：侵入！

◆解説

マックバーン署長の自宅へ侵入するシーン。

署長の自宅は、嚴重なセキュリティによって守られている。このセキュリティを無力化することで、発見されずに内部への侵入できる。無力化には《電脳神》が必要だ。

プレイヤー人数が2人の場合、神業は必要なく、宣言のみで無力化できるものとする。

◆描写

グリーンエリア、斑鳩にあるマックバーン署長の邸宅。一見ただけでは解らないが、嚴重なセキュリティが張り巡らされている。侵入が発覚すれば、すぐにSSSが駆けつけてくるだろう。

▼セリフ：巡回中のSSS隊員

「こちら異常なし。退屈な仕事だぜ」

「“99分署”の署長に手を出そうだなんて、そんな自殺行為をするヤツはしないさ」

「いたとしても、この完璧なセキュリティを見れば、諦めて帰っていくだろうぜ」

（無力化した）「セキュリティも万全、気楽なもんだぜ」

◆結末

神業の処理を終えたら、次のシーンへ。

●クライマックス2：依頼人は誰だ？

◆解説

マックバーン署長と決着をつけるシーン。署長は『①カタナ』を懐柔するために、『真実』で依頼人を聞き出す。依頼人と判明したカナが署長を襲うが、ベッパーの《難攻不落》によって阻まれる。その後、カット進行となる。

敵はベッパー、モディ、SWATトループ20人2グループ（プレイヤー人数が2人の場合、1グループ）すべて近距離に位置している。

マックバーン署長はエキストラであり、戦闘には参加しない。神業が残っていれば、神業変更技能でゲストたちを援護する目的で使用する。カット進行の終了条件はゲストの全滅。終了後、宣言のみで署長を殺害できる。

◆描写1

『①カタナ』たちの侵入に驚くマックバーン署長。その傍らには、不安げにうつむくカナがいた。

▼セリフ：マックバーン署長

「恐れ入ったよ。ここまで来るとはな
『②クロマク』、お前のバックは解る。三大組織のどこか、あるいは全部か。そんなところだろう」
「だが『①カタナ』、お前は解らん。『②クロマク』が動く前から、お前は俺を調べていた。お前の依頼人がどれだけ金を積んだか知らんが、その3倍、いや5倍を出そう。俺につけ、『②クロマク』を殺せ！」
「なぜ断る、『①カタナ』！ お前の依頼人は誰なんだ？」《真実》を使用
「バカな……このガキが！？」

◆描写2

そのとき、カナが動いた。隠し持っていたナイフで、署長を狙う！ だが、署長の部下に阻まれてしまう（ベッパーの《難攻不落》）署長は激昂し、カナを殴って気絶させる。

▼セリフ：カナ

「……お母さんの、かたき！」（ナイフを向ける）
「『①カタナ』、お願い……」（気絶する）

▼セリフ：マックバーン署長

「ち、父親を殺そうとするとは、親不孝者め！」
「母親の遺産を相続するまでは、生かしておいてやるつもりだったのに。恩を仇で返しやがって！ こいつらを始末したら、二度と反抗する気が起きなくなるまで折檻だ！」
「ベッパー！ モディ！ この薄汚い犯罪者どもを殺せ！」

（親子関係について意見を述べた）「家庭の問題に口を出すな！」

（殺した）「こんな、クソカスどもに……」

▼セリフ：“軍曹” ジョン・ベッパー

「ガンホー！ ガンホー！ ガンホー！」
「ほんと、ストリートは地獄だぜ！ フウハハハハハアアア！」

▼セリフ：モディ

「GRRRRRRRR！」

◆結末

カット進行に勝利したら、エンディングへ移行する。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

●やさしい殺し屋

『①カタナ』のエンディング。カナは『①カタナ』に礼を述べる。

「ありがとう、やさしい殺し屋さん」

カナはその後(11)、裏社会と関わることのない人生を送る。『①カタナ』と再会することはない。

●次の仕事へ

『②クロマク』『③ニューロ』のエンディング。三大組織の幹部たちに“99分署”壊滅を報告する。『②クロマク』の評価は大いに上がり、“99分署”に代わり緩衝地帯の管理を依頼される。結果、持ち込まれる問題ごとはさらに増え、それを処理する『③ニューロ』も忙しくなる。

(*11) カナのその後

マックバーン署長がいなくなれば、カナは善良な親戚の家に引き取られることになる。少なくとも当面、身の安全と将来は確保される。「親をなくしたカナは露頭に迷うのではないか？」と心配する必要はない。



RLガイド

本シナリオの展開はシンプルで、情報量も少なく、展開に迷うことはそうそうないだろう。だが、そのぶん淡泊に進行する可能性がある。RLはカナの健気さや、マックバーン署長の憎たらしさなどを強調し、アクトを盛り上げるとよいだろう。

▼ 『①カタナ』 について

『①カタナ』のキャラクター性は、アクトのイメージを大きく決定する。『①カタナ』がカナの依頼を受けた理由を問われるシーンは、本アクトの見せ場となるだろう。何となく気まぐれで、カナに昔の自分を重ねた、同じくらいの歳の娘がいて――きっと『①カタナ』ひとりひとり、違う理由が語られるはずだ。

RLは『①カタナ』のキャラクター性を尊重し、適宜描写や演出を考えるとよいだろう。

▼ 『②クロマク』 について

三大組織の幹部とも対等に話せる、ストリートの顔役を想定している。このような役どころのキャストは珍しいため、挑戦し甲斐があるはずだ。《腹心》をゲスト(TOS37)として扱うルールや、トループ招集特技(TOS38)など、普段は扱いにくいルールを活用する良い機会にもなるだろう。

RLは情報収集の結果を「部下が調べてきた」と描写するなど、「クロマクらしさ」を強調するとよい。

▼ 『③ニューロ』 について

プレイヤー人数調整用の枠だ。『②クロマク』の部下という立場だが、『②クロマク』に雇われたフリーランスなどでも構わない。《電脳神》には使用想定(セキュリティの無力化)があるが、《不可触》などで代用してもよいだろう。必ずしもニューロである必要はない。好きなキャストで遊んでもらいたい。

サージェント
「軍曹」 ジョン・ペッパー

カブト、カブトワリ●、イヌ◎

▼設定
「逃げるヤツは犯罪者だ！ 逃げないヤツはよく訓練された犯罪者だ！」

「99分署」のSWAT隊長。鍛え上げられた筋肉をアーマーギアに包み、笑いながら車載用の30mmチェーンガンで犯罪者をミンチに変える。上司同様に欲深で、金のためなら汚い仕事も平気でこなす悪党。

もとは企業軍の海兵隊員。マックバーン署長にスカウトされ、「99分署」に移籍してきた。二つ名の「サージェント」は、企業軍時代の階級（軍曹）と、現在の階級（巡査部長）をかけている（英語ではどちらも Sergeant）

▼神業

■難攻不落 □とどめの一撃 □制裁

▼能力値 / 制御値

♠理性：7 / 13 ♣感情：3 / 11
♥生命：7 / 13 ♦外界：5 / 11

▼戦闘データ

[CS] 11 [AR] 1
[防御力] S：6 / P：6 / I：8

▼一般技能

4♠♣♥♦ 運動
2♡♣♥♦ ★回避
2♠♣♥♦ ★射撃

▼スタイル技能

1♡♣♥♦ 防衛者 (CTL81)
3♡♣♥♦ クイックドロウ (TNX214)
2♠♣♥♦ 必殺の矢 (TNX215)
2♡♣♥♦ 緊急回避 (TNX222)
2♡♣♥♦ 不動 (TNX190)

▼アウトフィット

・CG21電：15 / 隠：- (TNX236)
攻：P+8 射：近～遠 フルオート可 (FA3)
車載用30mmチェーンガン。弾切れしない。
・ストライカー電：18 / 隠：- (TOS117)
最新型アーマーギア。

▼戦闘プラン

メジャーアクションでは〈射撃〉〈必殺の矢〉、フルオート射撃による攻撃を行なう。達成値+3、攻撃力P+11、ダメージに「差分値」を追加する。
リアクションでは〈回避〉〈緊急回避〉でドッジ。対決に負けてもダメージを5点軽減する。
〈制裁〉は〈防衛者〉の効果で防御系神業として使用する。

モディ

カタナ、ニューロ、クログネ◎●

▼設定
「GRRRRRRR！」

マックバーン署長の飼犬。黒い大型犬タイプのペットロイド。法順守プログラムを外されており、署長の敵を噛み殺す殺人マシーンとなっている。なおカナの母親を殺害した「野犬」とは、署長に命じられたモディのことだ。

▼神業

□死の舞踏 □電脳神 ■万能道具：不可知

▼能力値 / 制御値

♠理性：8 / 14(13) ♣感情：5 / 13(12)
♥生命：5 / 10(9) ♦外界：4 / 11(10)

▼戦闘データ

[CS] 8 [AR] 1
[防御力] S：2 / P：3 / I：3

▼一般技能

2♠♣♥♦ 電脳
3♠♣♥♦ ★白兵

▼スタイル技能

3♡♣♥♦ フォルム⑦：アニマル (TOS66)
2♠♣♥♦ 離れ業：理性 (TOS70)
3♠♣♥♦ 無明剣 (TNX204)
1♡♣♥♦ 見切り (TNX204)
2♠♣♥♦ ターボブースト (TNX225)

▼アウトフィット

・生身電：- / 隠：- (TNX232)
攻：S+5 受：0 射：至近
・メタルアーマー電：13 / 隠：- (TNX239)
皮下装甲。

▼戦闘プラン

セットアップに〈電脳〉〈ターボブースト〉を使用、自分のCS+「カードの数字」。
メジャーアクションでは〈白兵〉〈離れ業〉〈無明剣〉による攻撃を行なう。〈知覚〉を組み合わせなければリアクション不可。攻撃力S+5、ダメージ+8。
ダメージを受けたら〈見切り〉で軽減。

SWATトループ

カブトワリ5レベルトループ

▼設定
「99分署」に所属するSWAT。警官（イヌ）というより、最新鋭装備で武装した兵士（カブトワリ）だ。

▼能力値 / 制御値

♠理性：7 / 9 ♣感情：5 / 9
♥生命：7 / 8 ♦外界：8 / 10

▼戦闘データ

[CS] 8 [AR] 1
[防御力] S：6 / P：6 / I：8

▼一般技能

4♠♣♥♦ 運動
2♠♣♥♦ ★射撃

▼スタイル技能

2♡♣♥♦ クイックドロウ (TNX214)
2♠♣♥♦ キルゾーン (CTL77)

▼アウトフィット

・風狼電：16 / 隠：3 (TNX235)
攻：P+5、射：近～中、フルオート可 (FA3)
最新型アサルトライフル。
・ストライカー電：18 / 隠：- (TOS117)
最新型アーマーギア。

▼戦闘プラン

メジャーアクションでは〈射撃〉〈キルゾーン〉（近距離を指定）、近距離の対象へフルオート射撃による攻撃を行なう。達成値+2、ダメージに+8する。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したりプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.029 『KILL MY DADDY』

発行日：2016.12.16

執筆（著作権者） SONE

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL：http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/